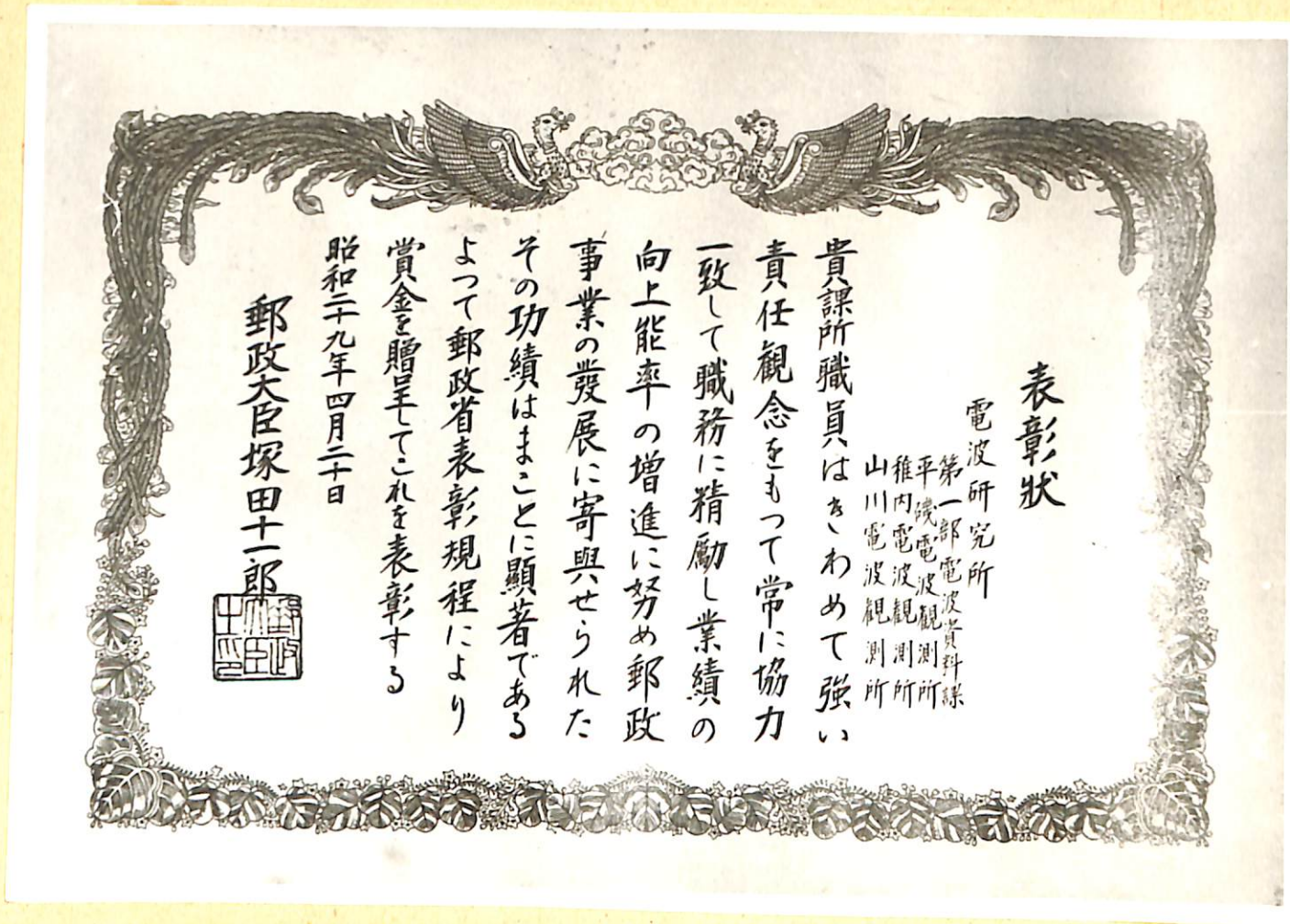


電 波 警 報

郵政大臣表彰記念



表彰状

電波研究所

第一部電波資料課  
平鏡電波観測所  
稚内電波観測所  
山川電波観測所

貴課所職員はきわめて強い責任観念をもつて常に協力一致して職務に精勵し業績の向上能率の増進に努め郵政事業の發展に寄與せられたその功績はまことに顯著であるよつて郵政省表彰規程により賞金を贈呈してこれを表彰する

昭和十九年四月二十日

郵政大臣塚田十二郎



上田弘之 第一部長

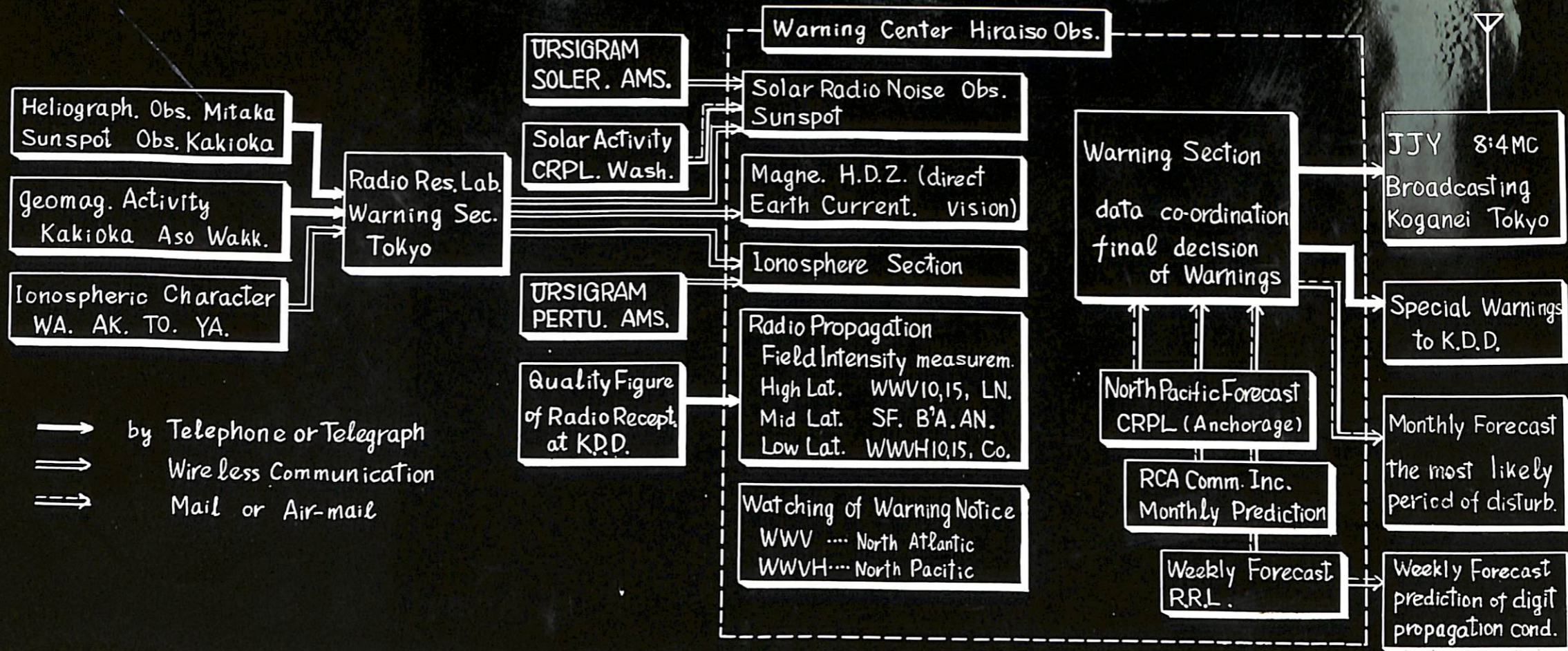


甘利省吾 研究所長



好川得太郎 資料課長

## Working System of Radio Disturbance Warnings



## Radio Communication Warnings

Forecasting Stage

Warning Stage

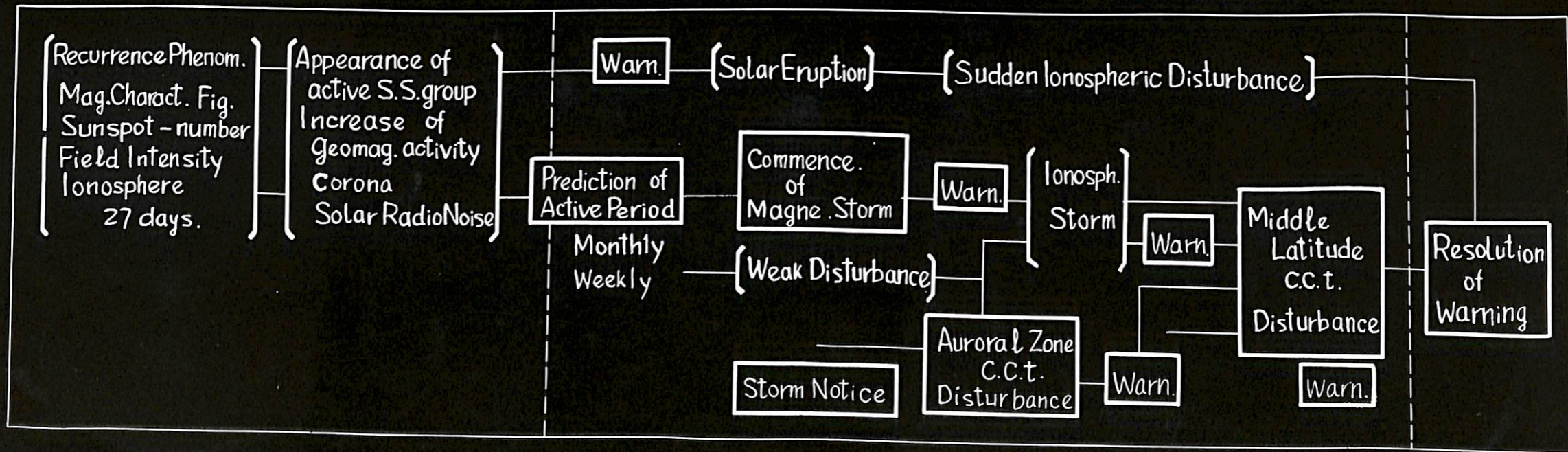
Resolution Stage

Solar Phenom.

Magnetism

Ionosphere

Field Intensity





国分寺電波研究所

↑ 80mの木柱  
全国でもメスライ

↖ 45m鉄塔



糟谷績 資料係長

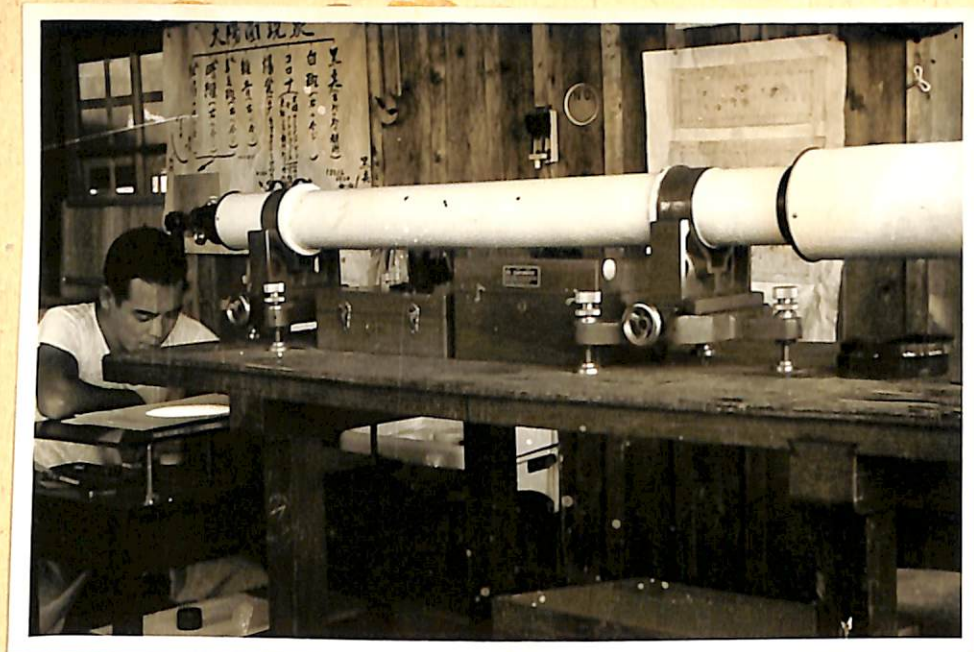
島崎 滝 柴 好 大 糟  
崎 田 田 川 内 市  
平 石 水 沢 小 川  
崎 谷 路 舟 有  
田 田 鳥



電波研究所正面玄関



資料課のメンバー



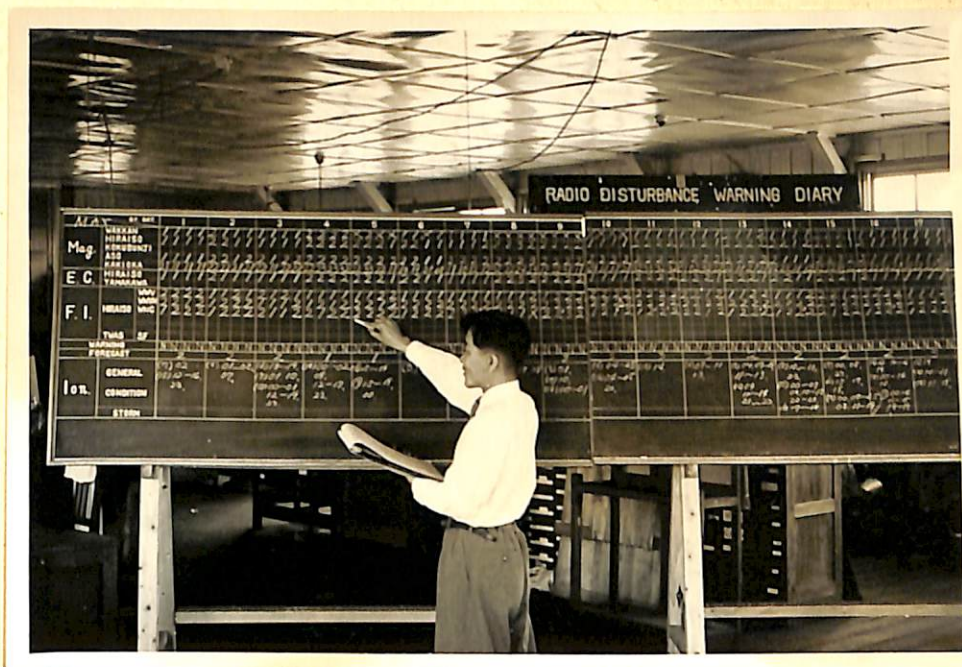
太陽観測用の望遠鏡

白紙の上に投射した黒点、白斑と  
ふんとう中の宮崎憲さん  
人稱して宇宙的なおとこ

島崎  
枝官

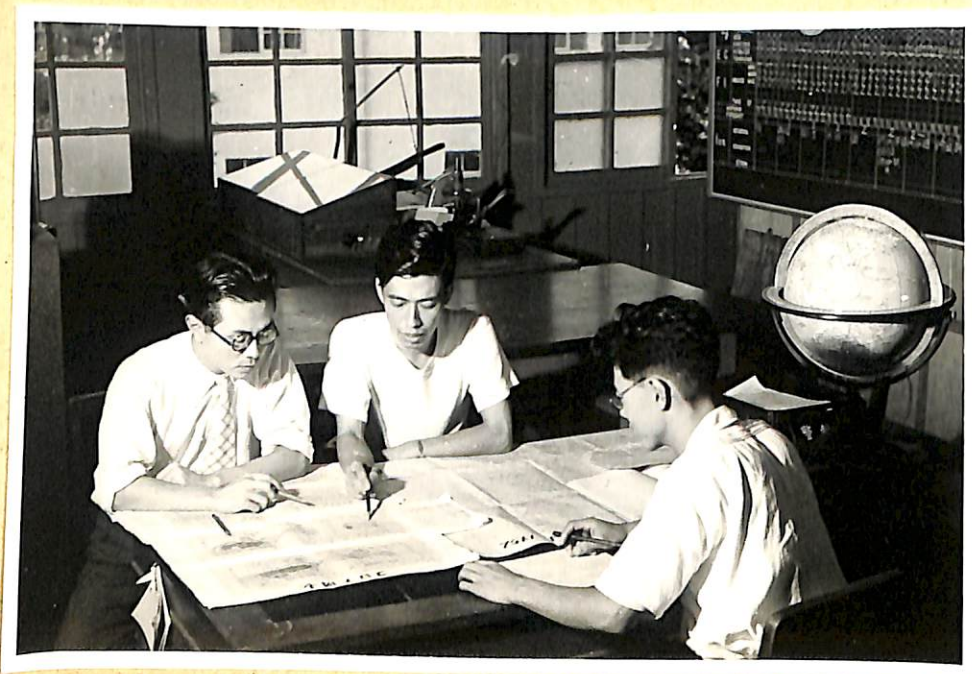
大内  
枝官

有馬  
枝官



警報板

当るもハケイ 当らぬもハツケイ  
天気予報よりは あてになる!!!  
平枝官



警報官会議

Uにしようか Wにしようか?

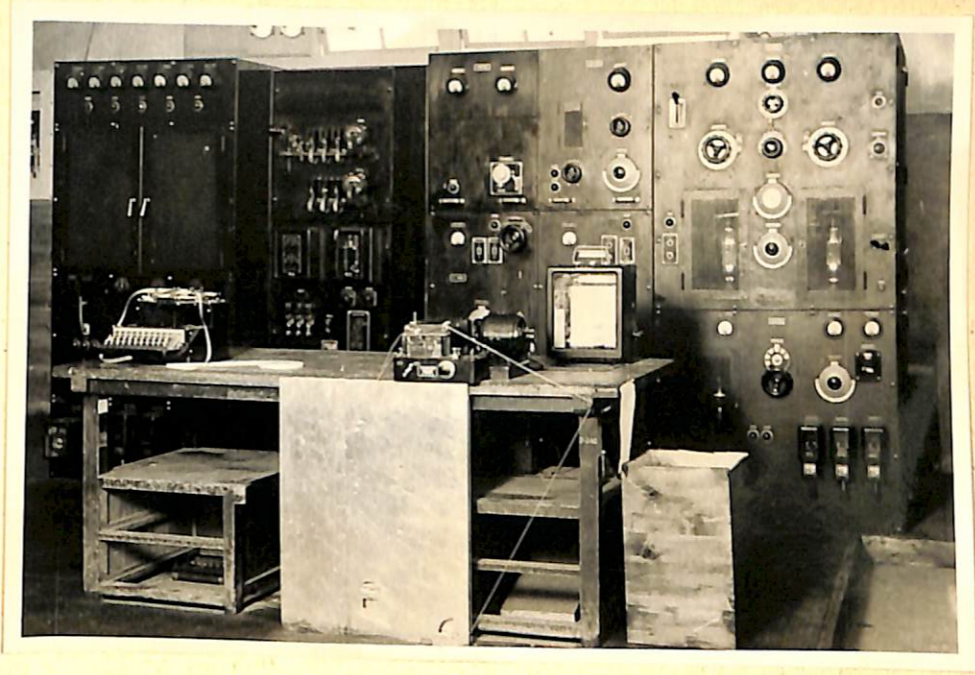


ウルシグラムコードをテープにする

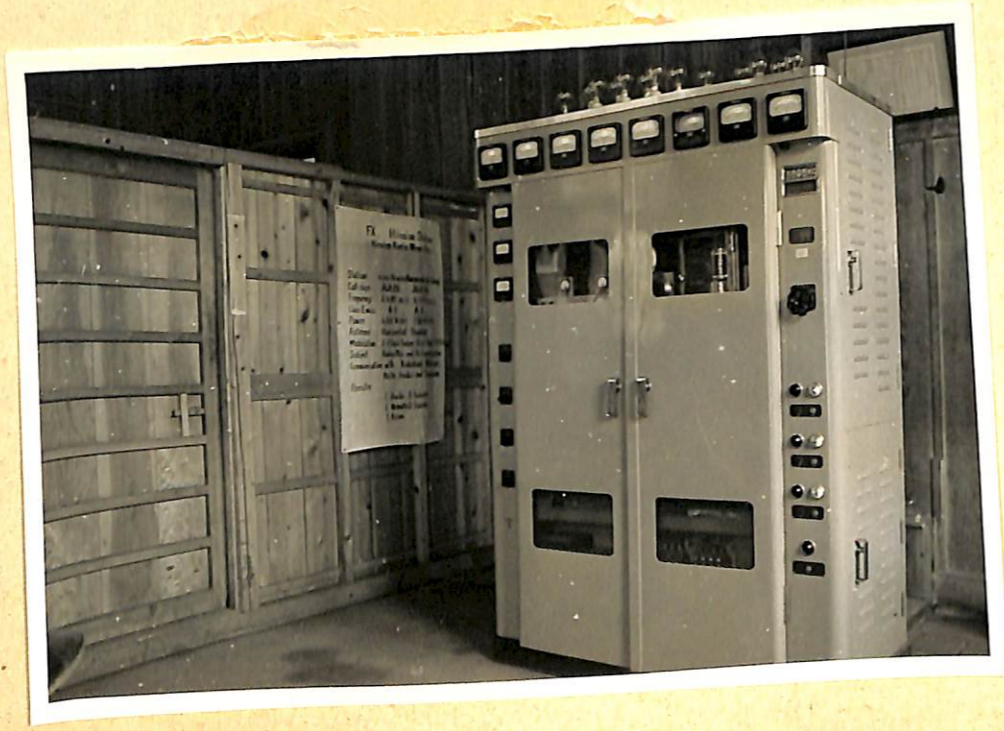
矢澤枝官



ウルシグラム 送信空中線

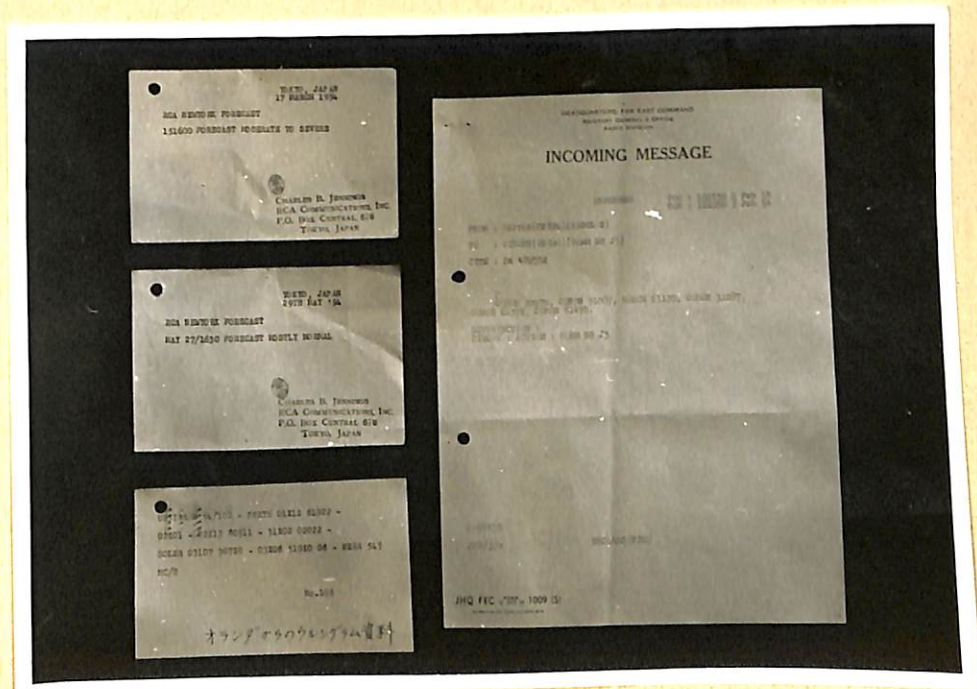
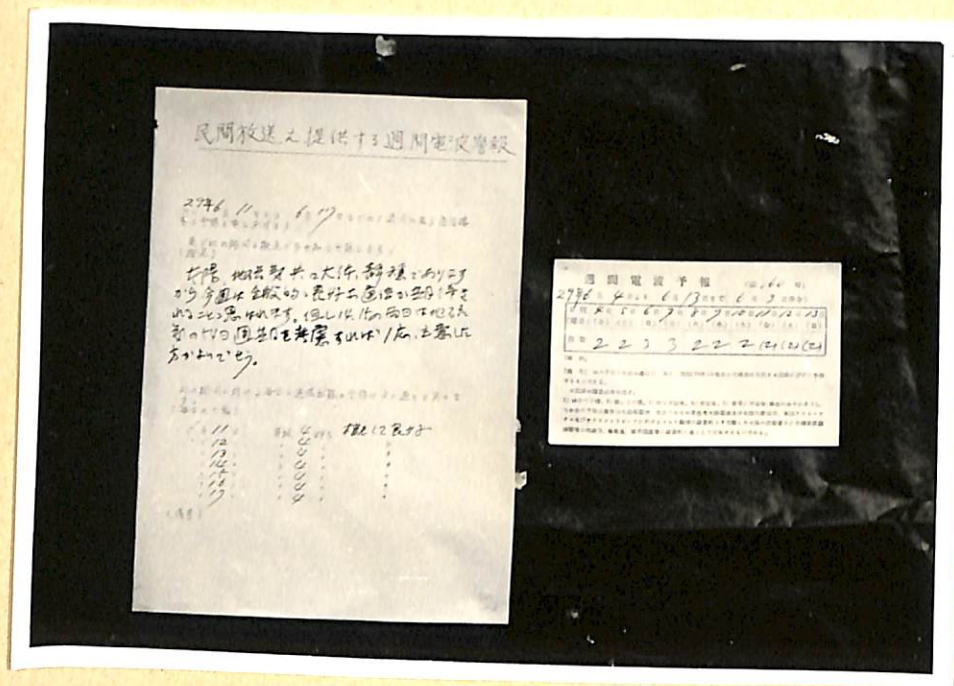
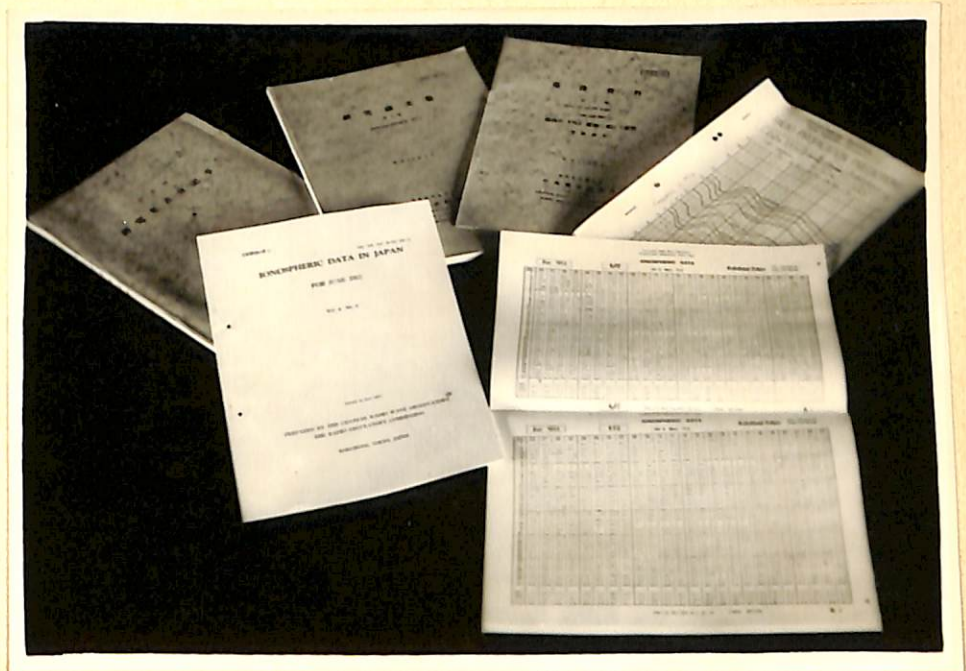
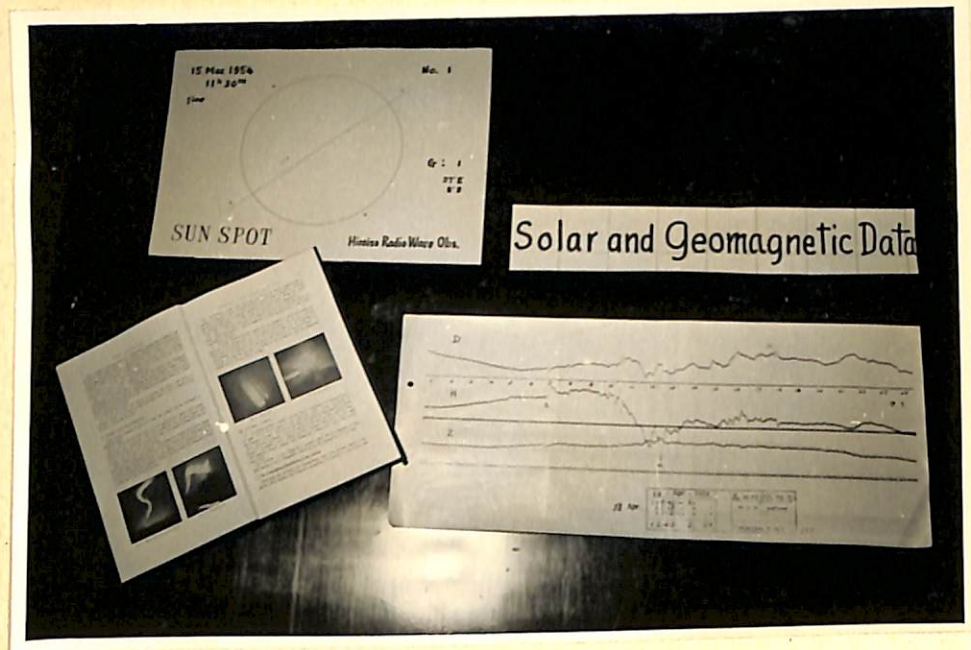


ウルシグラム 放送設備 ときにタイフ  
した テーブを使って自動送信する

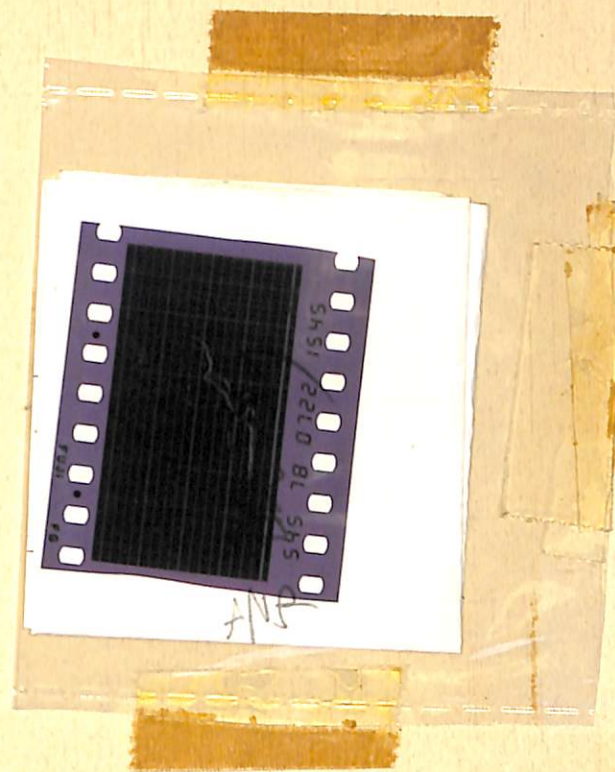


各観測所との無線連絡

市川技官



研究所刊行の資料

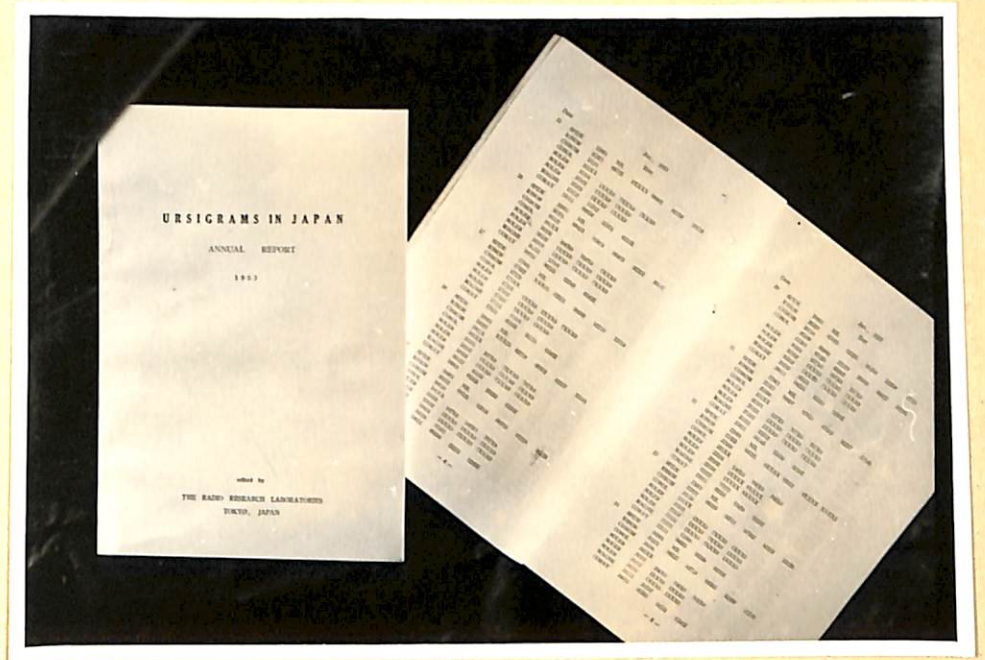
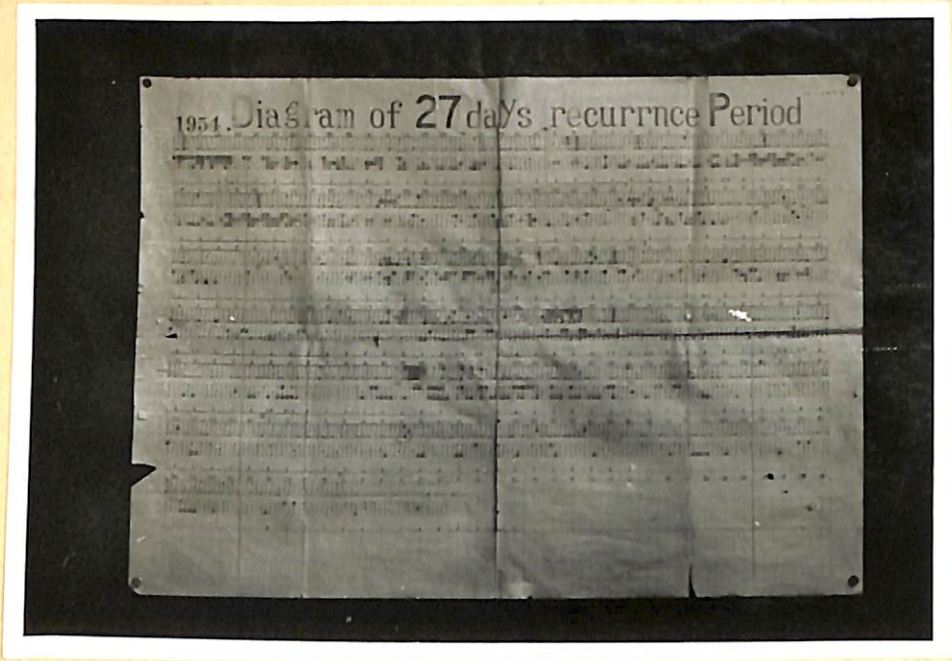


第3回 ↑

わが親愛なる Wakkana i Rad. Obs.







小金井の標準電波も ~~ブルンゲン~~ に一と役  
警報

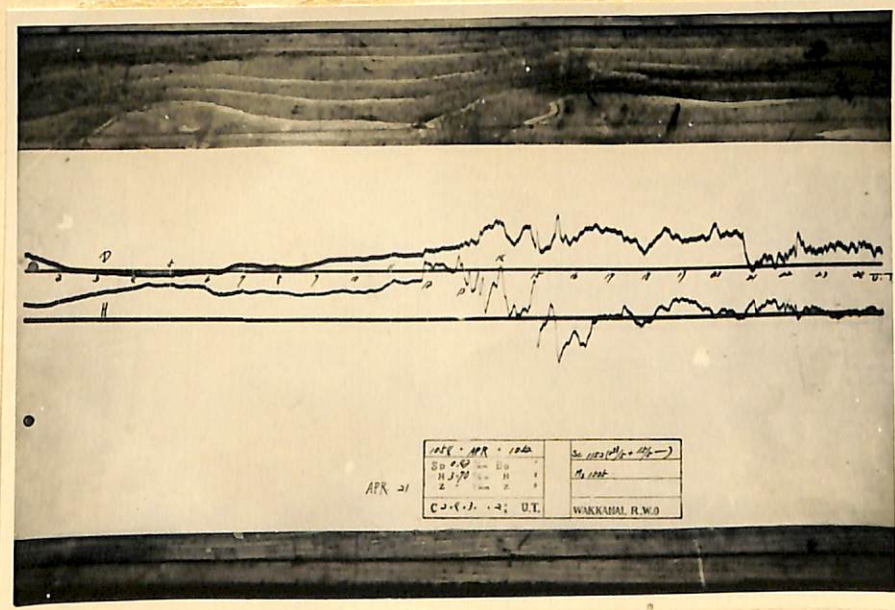




地磁気観測室  
 “人見知り”する杖杖が  
 入れている



越智前所長



地磁気データのつ

17  
 ↓  
 13



平磯電波観測所舎

新野

宮本

高橋

尾上

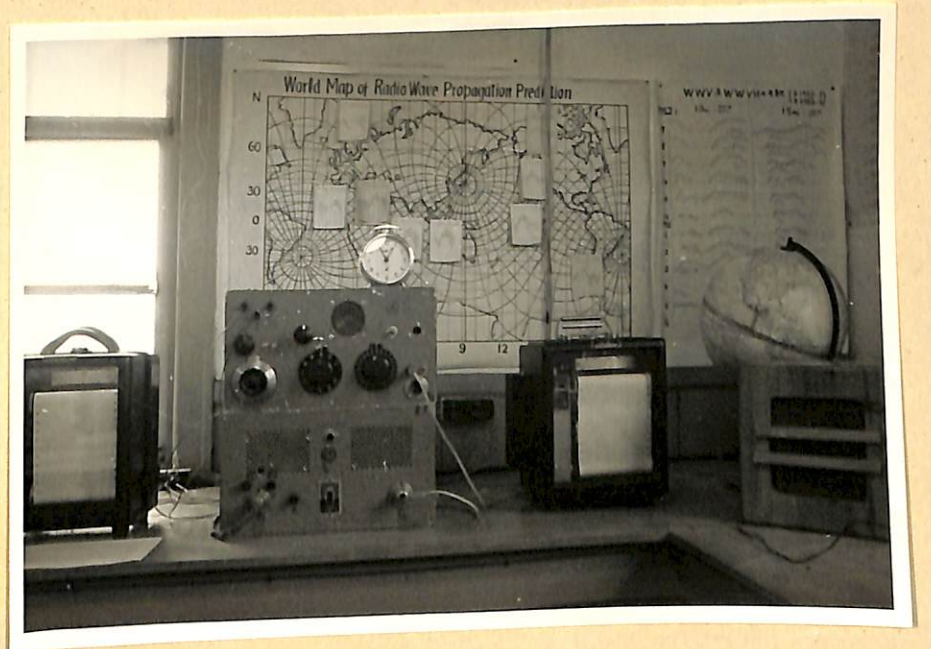
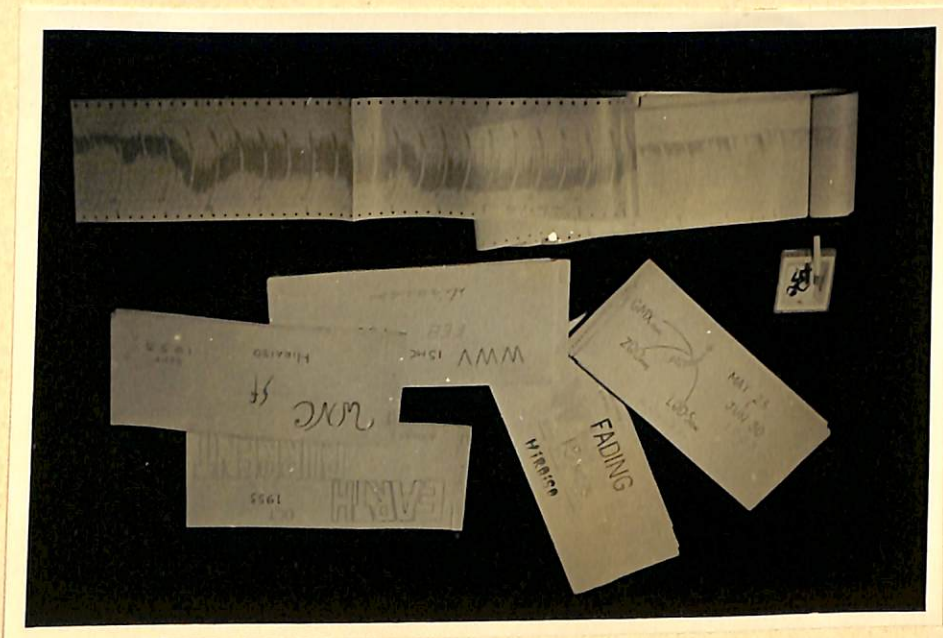
大林(ツツ)



平磯電波観測所

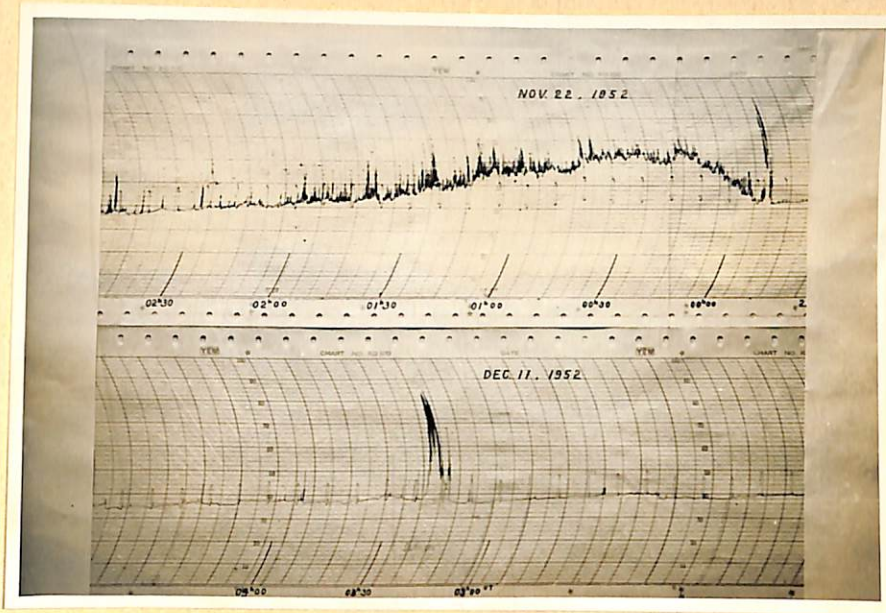


電界強度も、太陽雑音も、マグネも  
記録計に出る データは一堂に  
平後の警報、予報室





太陽雑音観測室



“おてんとさま”のごきげんは？

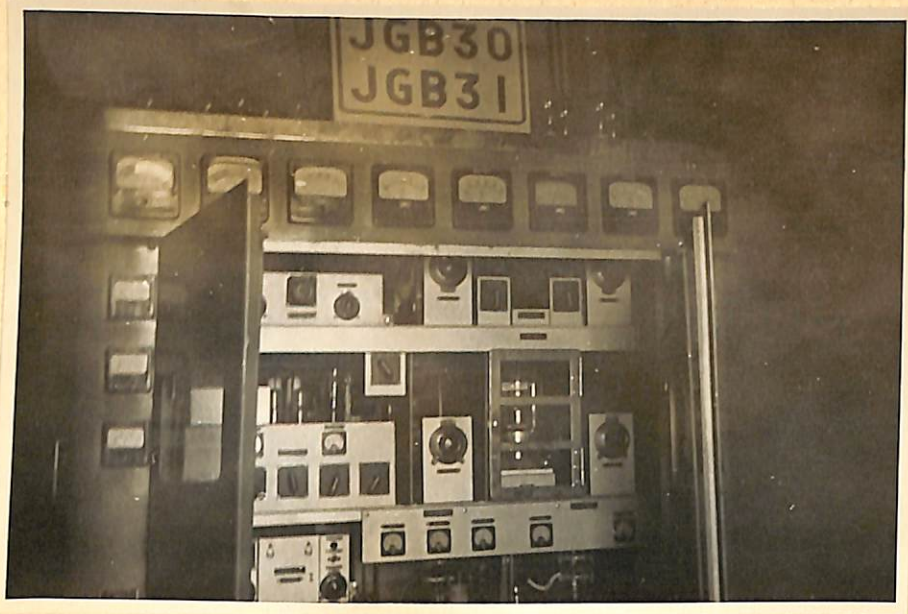


二枚のかざみで  
一日中おてんとさまつかまへて  
はなさぬからくり



←これは国分寺

目で見るおてんとさま  
の観測装置



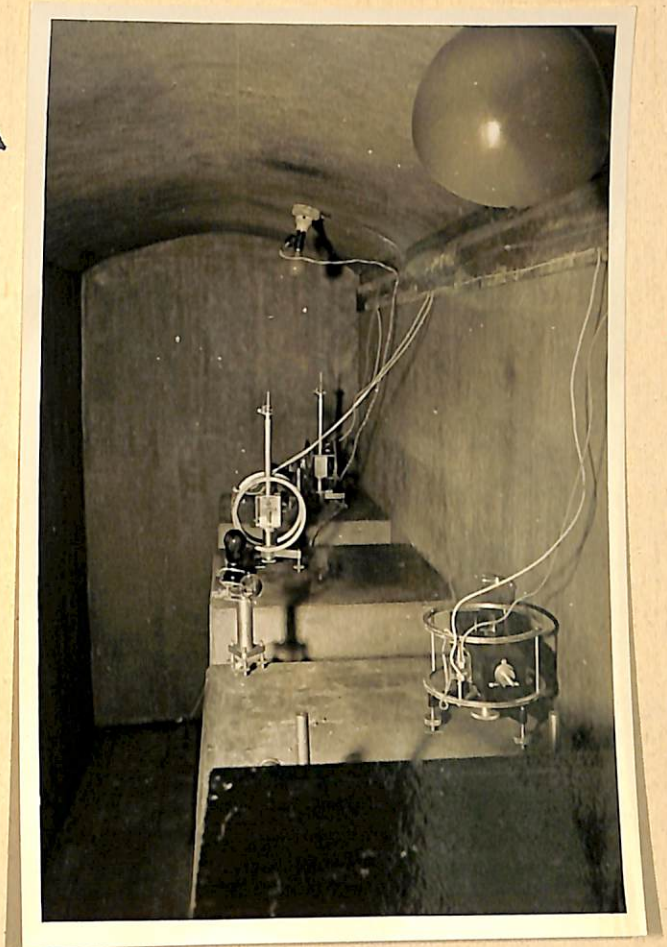
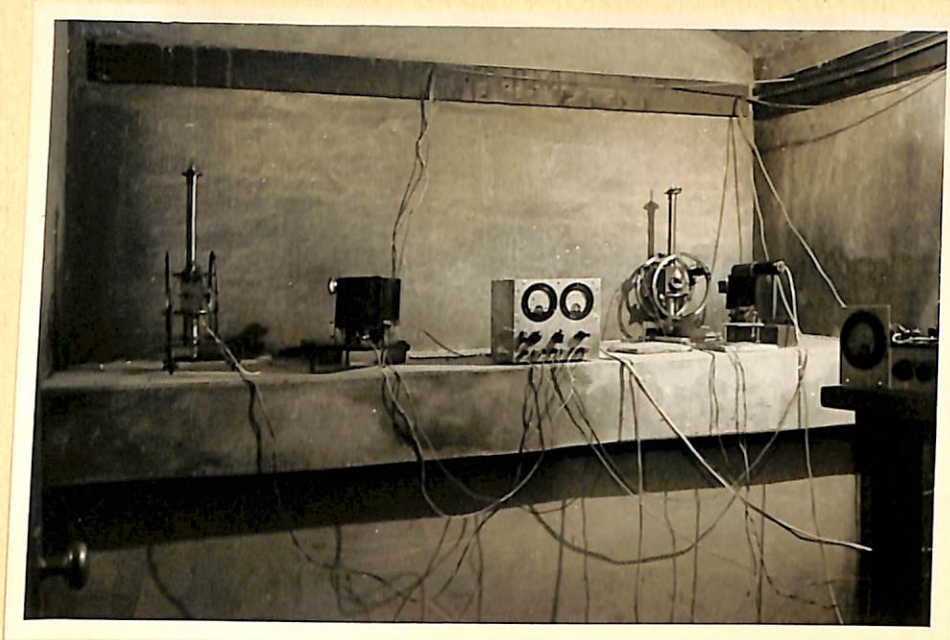
字 32  
←

国分寺さん その他と  
お話しするしかけ  
左ぐし むだり話ばかりかられる ナアーンダ



すざらん 持つて 嬉ぶ可愛いの處も  
ある所負達 此水から春がヤとね。

雑内のジオマグネ

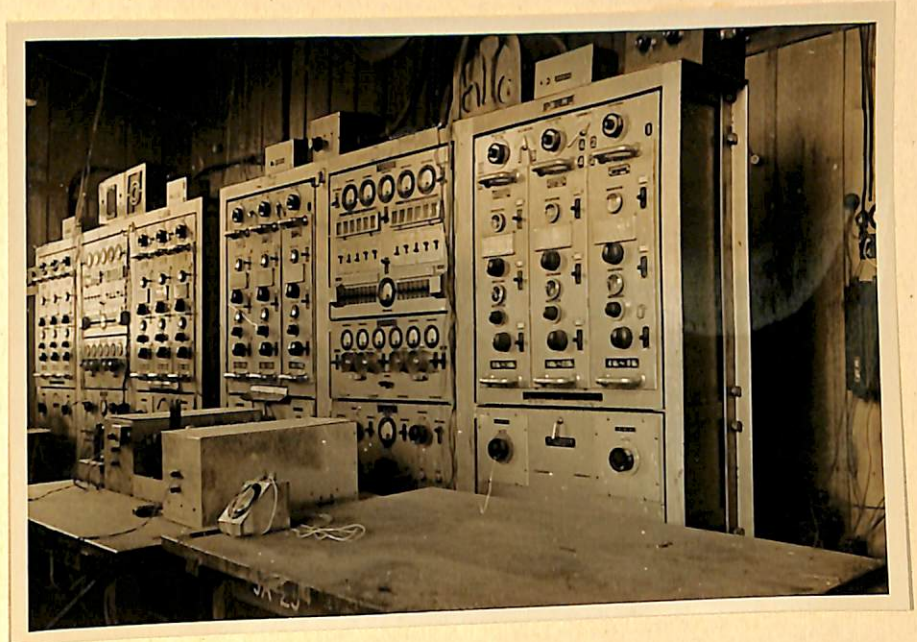


字13  
←

平磯のジオマグネ



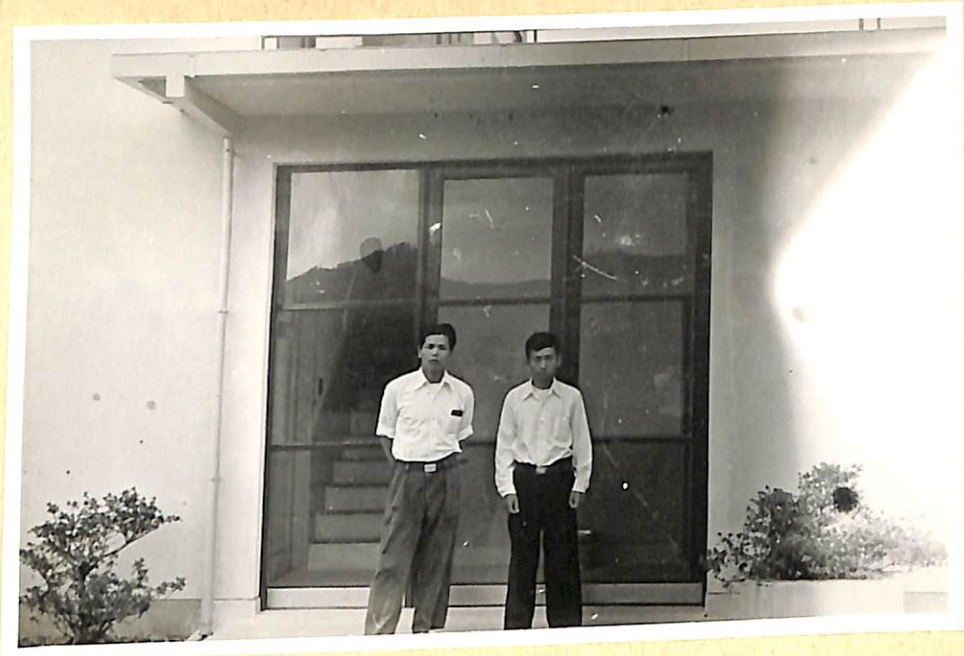




WWV  
HAMM さとつてゐる

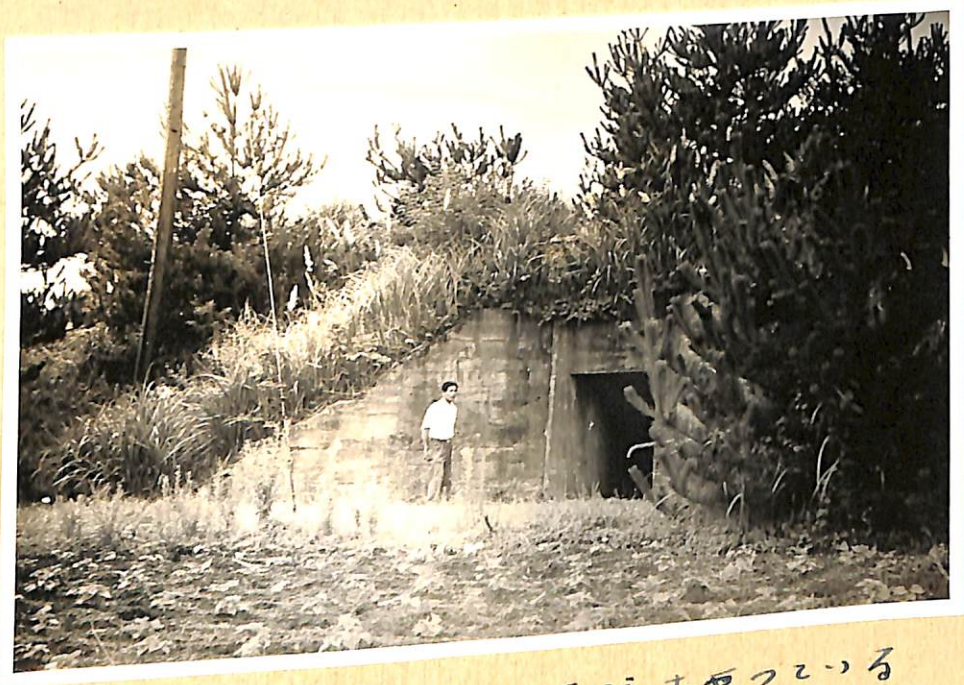


海は大平洋 カシマナダ



田之畑  
上敷領

山川電波観測所



こゝでは地電流をやつてゐる



村松金也  
前所長



NHK  
ア  
ニ  
テ  
チ  
↓

↑  
南  
樺  
内  
駅

觀測所北側高地より  
宗谷海峡を一望  
昭和29年3月青嶋勇枝官寄



昭和29年3月1日  
澤田一善技官来租



昔とッし 杵柄左北ど  
澤田さんのスキー





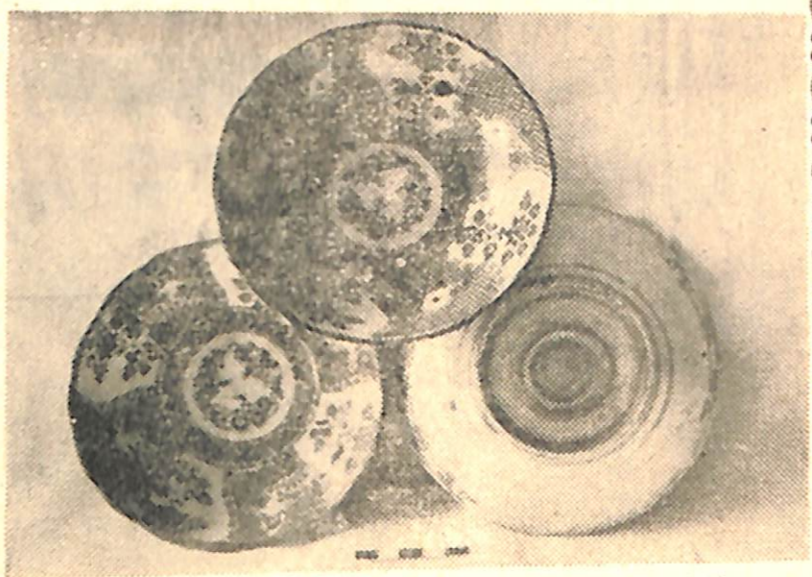








旭川市内の運航を計画し合う。



漁師の食生活に欠かせなかつたサンペイ皿 (青年の家所蔵)

▼ 開拓資料  
その  
サンペイ皿が文化財だといえは吹雪出す八がいるかも知れない。しかし同じサンペイ皿でも現代のセトモノ店で見られるものとは違ふ。宗谷ニッ

場のはなやかなころ、それは宗谷場所が開設された時から、この漁はあつたに違ひないが、サンペイ皿が使われたのは、おそらく明治に入つてからであろう。サンペイの調

になり、何という料理かと聞いたところ、漁師(名は三平)は、何もないと答えたため本人の名前をとつてサンペイと名付けたという。極めて美味しく何度もおかわりしたといわれ、これがサンペイ汁の元祖でもあり、いまは北海道独特の郷土料理としてその珍味を誇つ

# 文化財を訪ねて

(37)

## にじむ生活の匂い 名付け親は松前の藩主

器(皿)は安物の模倣とデザインではあるが、長い北海道の漁場の歴史を物語るものとして文化財に値いするものもある昔の漁場の飯場では、こ

とになり、細部のな負担額に足りないが、もうニッソも来なくなり、また新しい台所用品が次々に出るようになってから

に違ひないが、もうニッソも来なくなり、また新しい台所用品が次々に出るようになってから

の皿は捨てるほどあつたに違ひないが、もうニッソも来なくなり、また新しい台所用品が次々に出るようになってから

に違ひないが、もうニッソも来なくなり、また新しい台所用品が次々に出るようになってから

二カ月  
りとい  
稚内地  
春のよ  
の大雪  
市街地  
四月の  
で、こ  
心配さ  
雪崩れ  
山に面  
稚内市  
れの危  
までも  
いる。此  
後だけ